

週報

【 No.787 2017/10 第3例会 】

例会日：毎週金曜日
 例会場：碧海信用金庫本店3F
 安城市御幸本町15-1
 TEL：0566-75-8866
 FAX：0566-74-5678
 Email：anjo-rc19580206@katch.ne.jp
 HP：http://www.anjo-rc.org

第2933回例会

2017年10月27日(金) 12:30～13:30

司会者：岩井 春次君

ソング：「それこそロータリー」

ニコボックス委員会：藤井 英樹君

青少年奉仕委員会：亀島 深里さん

親睦活動委員会：小林 喜司男君

ゲスト及びビジター： パナソニック(株)エコソリューションズ



ミヤウチ ジュンヤ
 宮内 順也様
 アオキ ミヒロ
 青木 美浩様

2017-2018年度RIテーマ：

「ロータリー：変化をもたらす」

安城ロータリークラブ会長方針：

「地域、喜び、輝き」

■会長：福田 雅美

■幹事：成田 孝則

■クラブ会報：石川徳重・平井弥生・鳥居博行

■創立日：S33年1月10日

■RI加盟認証日：S33年2月6日

■ 会長挨拶

福田 雅美会長

『 地域、喜び、輝き 』

■ 幹事報告

1. 本日例会終了後創立60周年記念事業実行委員会を開催いたします。
2. 11/3(金)祝日の為、休会です。また、9:00より安城ロータリー杯争奪少年野球大会が安城市野球場にて開催されます。
3. 11/10(金)11:30～理事会・例会終了後に創立60周年記念事業実行委員会を行います。
4. 12/17(日)会員家族親睦例会の案内を配布いたします。
5. 11月のロータリーレートは、1ドル=114円です。
6. ゴルフ部会より 10/26(木)七親会ゴルフコンペ、安城RCの成績は、団体2位でした。
また、併催の第2回安城RCコンペは、細井英治君の優勝でした。

■ 出席報告

梶岡 義孝君

会員	57名
出席義務者	46名
出席	37名
欠席	9名
出席免除者の出席	9名
出席率	83.92%
修正出席率	10月6日 第2931回例会 92.85%

◆ 卓話

担当：鳥居 博行君

テーマ 『これからの電気とのつきあい方～つくる・ためる・利用する～』

卓話者：パナソニック(株)エコソリューションズ 宮内順也様・青木美浩様



本日は、ここ数年で変わってきたエネルギーの状況、政策の中で家庭と電気の関係についてご説明をしたいと思います

はじめに

東日本震災から6年半たちましたが、このとき当たり前に思っていたエネルギー安定供給が必ずしも当然ではないことがわかり、我が国のエネルギー政策の見直しが課題になるとともに、エネルギー安定確保の問題等を世界的課題として認識させることとなりました。他方、大震災の後も、世界の経済社会情勢は、新興国を中心にエネルギー需要は急増を続けており、世界的環境問題の認識を深めるようになってきました

世界的にもエネルギー使用量の多い日本では温室効果ガス削減目標として2, 030年度までに2013年度比温室効果ガス排出26%削減目標を掲げています

部門別に見てみますと産業部門は1973年から2014年まで約20%の減少に対し、家庭部門はかえって2倍にも最終エネルギー消費が増えています。大きな要因は2つ、世帯数の増加と利便性・快適性を追求するライフスタイルの実現により多くのもの、様々なものにエネルギーが使われるようになってきたからです。もちろん、そうしたことで経済が発展し、私どもも恩恵を受けています。皆様も節約意識からの行動、製造側もより効率の高いものを開発し、削減を進めていますが、特に電気を使用するものは今後も増えていく可能性があり(家庭内ロボット、EV車 等)、総量は別としてより多くのものに電気は益々使われていくものと思われま

こうした背景の中で電気との付き合い方がここ5年ほどで大きく変わってきました。

今までは『買って使う』というものが、『買う』のもどこから買うのか、何で買ったものを買うのか、そもそも買わずに自前で創る(太陽光、ガス等)のかという仕入れ方法の判断。

供給を受けたものを『使う』にしても何時つかうのか、何に使うのか、使わずに『売る』もしくは『貯める』のかといったこれらを組み合わせたそれぞれの家庭の事情にあった最適な方法を選ぶ機会がやってきました。しかしながら何が自分にとってベストミックスなのかは容易にはわかりません。本日はそうした判断のきっかけになればと思い、『買って使う』という一番シンプルな部分での意識していただきたい部分についてご説明させていただきます

電気代の仕組みと使用状況

ご家庭の基本電気料金は、基本料金と電力量料金と再エネ発電促進賦課金との合計になります

基本料金をご契約電力により決まります。これは瞬間最大に使える電力量により決まります。電力量料金は使用量に応じて加算されます。つまり使えば使うほど高くなるしくみです。なお、ライフスタイルに合わせて選べるスマートライフプランは昼間は逆に電気代が高くなりますので、太陽光や蓄電池を組み合わせるのがお勧めになります。

また、再エネ発電促進賦課金も使用量に応じて加算されていきますので、光熱費を下げるには少しでも電気使用量を下げることがコツになります

ライフスタイルに合わせたサービスプランを活用すれば、同じ使用量でも光熱費の負担削減に

なります。まずは、お得な時間帯に生活家電を動かすこと、そのためには今何時使っているかを知ることです。まずは使っている時間を記録してください。日や季節によって違うので、ご自分でずっとやるのは難しいかもしれません。そうしたときに今、国として進めているのが

家庭の電気を計測する装置『HEMS』(ヘムズ)です。HEMSを将来的に全世帯へ普及させることを目標としています。

HEMSがあると、家庭の電気を見える化できるので、使い方を工夫できます。最近はさらに

計測だけでなく、家電を制御したり、在宅や帰宅をお知らせするものもできています

もちろん前述のように太陽光を組み合わせることで、更にお得な使い方も検証できます。

今後はそれにさらに『貯める』蓄電池を組み合わせることでお得に使うことができいくと思われま。太陽光と蓄電池は、光熱費の負担を抑えるだけでなく、もしものときにも活躍します。太陽光があれば、昼間の停電に対応できます。さらに蓄電池があれば、雨の日や夜間の停電にも対応できます。

最後に

皆様のご家庭でのライフスタイルを一度調べていただきどのようにエネルギーをお使いいただいているかをご検証いただき、その中に今後万が一のことをお考えいただき保全もご検討いただく中でお得なライフスタイルを見つけていただければありがたいです